

CBC NEWS

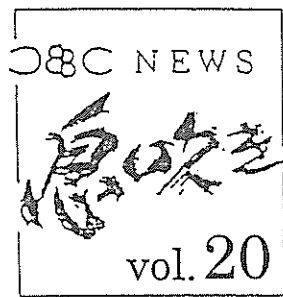


枠組みに入れることができるかと考えている。問題は「ITは神の霊性を伝えることができるか」ということである。

ITは優れた情報伝達技術で

IT時代の教会

教会でもホームページを開設しているところが増加している。ある牧師が「通信説教」として立ち上げたHPの説教に対して応答し、感想や批判を述べる人が多くおり、それが継続しているという。一度も会ったことのない人たちとメールのやり取りを通しての交わりであるが、そういう交わりを「教会」という



ある。今日我々が入手できる情報は膨大で、マクロの宇宙物理学からミクロの生物学までを含む学問的領域から、日常の新製品、買い得商品、グルメ情報、さらには出会い系の情報など、選り取りみどりである。

一方、それを利用、活用する人間に問題が生じつつある。テレビの普及と共に、活字文化は映像文化に大きく転換した。映像文化は断片的な、編集された強力な情報伝達を通して、人間思考を快感重視に導いた。まんが、テレビ・ゲームなどがこれをさらに拡大し、幻想と現実の境界が失われつつある。

また少子化による人格的接触機会の減少の結果ことばによるコミュニケーションが不足し、不得手になる。内にこもり、た

CBC NETWORK

・六月一日に、北カルフォルニア・ネバダ教区副教区長、ジェームス・ブラディ師がチャペルでご奉仕された。
・七月八日・九月一日まで、学生は全国諸教会で夏期実習を行なった。
・七月九日・十一日まで、夏期教師研修会が富士箱根ランドにて開催された。
・七月十七日・二十日まで、夏期研究科が開催され、ポール・ウィリアム師が「牧会カウンセリング」を、込尾隆義師が「啓示論に見られるパラダイムと新しい福音的啓示論の視座」を担当された。ウィリアム師の通訳として、木崎智之師がご奉仕された。
・八月二〇日・二七日の八日間、四年生一三名が、教授三名とともに、三グループに分かれて、北海道にキャラバン伝道に赴いた。その帰途において、八月二十八日・二十九日には、八戸開拓(八戸のそみキリスト教会)にて奉仕を行なった。
・八月二一日、小石臨神学生が、

学期途中であるが、奨学金を授与され米国留学することとなった。
・九月五日に、聖別会が持たれ、石原嘉宣師がご奉仕された。
・一〇月五日に、講師の鎌田正治先生(英語担当)が鯉を寄贈して下さった。
・一〇月一五日に、学生一同で東村山市のハンセン病施設・全生園を訪問し、個別訪問後、集会を持った。
・一〇月一八日、シンガポール・トリニティ・クリスチャン・センター牧師ドミニク・ヤウ師がチャペルでご奉仕された。
・一〇月二二日、学生と教師数名で箱根へ遠足に行った。
感謝!
路傍伝道など野外活動のために、キーボードの献品をお願いしたところ、三台もの捧げ物を頂きました。
皆様の尊い献品、そしてお祈りに対し、学生一同、心から感謝申し上げます。

後援会のご案内

中央聖書神学校が教団の伝道者養成期間として発足以来、すでに五年を数えておりますが、その間多くの方々のご協力と献げ物と奉仕によって幾多の伝道者、働き人がこの学舎から輩出されたことは感謝であります。

さらに学校の設備に充実とゆとりのある運営がなされるためには、多くの方々のご賛同を必要としております。どうぞこの点をご理解いただき、是非本会にご入会くださるよう心よりお願い申し上げます。

中央聖書神学校後援会
会長 山田 亘

後援会入会要領

個人会員 一口年五千元
法人会員 一口年一十万円
☆連絡は中央聖書神学校内後援会宛にお願い致します。

編集後記

二ヶ月間の夏期派遣を終わり、三年間の神学校生活も折り返し地点にきたかと、感慨に耽っていた時、突然、飛び込んできた米国における同時多発テロ事件のニュース。胸の引き裂かれる思いであった。

ある人の、「この世は真理の国ではない。真理は見知られず人々の間をさ迷っている。」という言葉が思い出される。我々は、この真理を人々に指し示す為に召し出された。今更ながら、その責任の重大さに、身の引き締まる思いである。

(N・T)

編集スタッフ

菅原 洋子 内田 信恵
瀬上 博子 竹中 範明
山岸よしあ 宮澤 幹彦
古川 雅香

編集責任者 白石 慎男
事務局 中央聖書神学校

豊島区駒込三二一五二〇
FAXTEL 〇三三三九一八四九二五
〇三三三九一八四〇六四

静心

「神学校の三年間はアツという間だよ」と、先輩に言われ続け、きた。まさか、と半信半疑で過ごしながら早くも二年半。今さらながらにその言葉を痛感する。キャラバンや面接など最終学年ならではの出来事に、一歩一歩近づく卒業を感じる。神学校の一日体験入学に参加してから五年。その時には今のようない日があるなんて少しも想像しなかった。あと半年、不安と期待が混じる中、最後の神学校生活を十分に過ごしたい。(N・U)

1日体験入学のお知らせ

日時: 11月23日(金・祝)
午前9時~午後2時
内容: チャペル、授業2科目、昼食会
住所: 〒170-0003
東京都豊島区駒込3-15-20
電話番号: 03-3918-4925
申込は学校事務所にお申し出下さい。

夏期派遣の証し ~北から南から~

道の両側に緑の稲のじゅうたんが遠くまで広がり、そこに心地よい風が吹くと緑の稲が波のようにゆれ、それを囲むように、磐梯山などの山々が連なっている自然豊かな喜多方。弓山先生も愛されているこの地に、主が立てられた信愛キリスト教会。

喜多方についた週の月曜日の朝、七時三〇分ごろから、教会に併設されている、信愛幼稚園の子供たちの元気な声が響きました。ここで、幼稚園のお手伝いをさせて頂きました。今年の夏は例年より暑かったということもあって、園庭にプールを出して水遊びもしました。子供たちがみんな登園すると礼拝が持たれました。教会学校につながっているのは幼稚園に通った子供たちでした。七月末に持たれた夏期学校には、卒園児がほとんどで、四〇人ほど集まり、幼稚園の働きの大切さを感じ

さわやかなキリストの
香りのする教会

三年 重本 百合子

無謀な旅の前に

二年 吉永 豊

私はこの夏、教会の中高生

を連れて、神奈川県を起点に、川越、熊谷、高崎、軽井沢、上田、長野、信州中野、北志賀高原というルートを自転車で走破する、過酷(無謀)な旅に出ました。

下見に車で行った私たちは絶望的な気分になりました。それまでは大変そうだけれど、多分平気だろうという気楽な気持ちでした。

けれども、そびえ立つ山々を前に完全に圧倒されたのです。祈りました。祈るしかなかったのです。私の心は完全に不安に支配されました。その時、主は祈りに応え、ある人と話す時を下さいました。

その人は学生時代「ママチャリ」と呼ばれる自転車で日本を一周していた人です。彼は私たちの計画を聞くと、眉ひとつ動かさずに「大丈夫！余裕です」と言い放ちました。あまりにもあっけなく確信をもって言うので、「でも、山があつて大変！」と一番の不安点を述べると「日本は山国。そんなこと言っていたら自転車ではどこにも行けない」。さらに「ママチャリで一日軽く一〇〇



km以上は走れる」。挙句の果てには「自転車の方が車で走るより実は楽」などと恐ろしいことを言い出すのです。でも彼の確信に満ちた言葉が不安を消してくれました。この言葉を単純に信じた私たちは、結局彼の言葉が本当である！と言うことを確かめながら走ることにしました。経験に基づいたアドバイスができる人は頼りになると身にしてみても感じました。高崎ファミリィチャペルの皆さん、本当にお世話になりました。碓氷峠を無事に越えられたのは、前の日にいただいた沖縄風ラーメンのおかげです。否、祈りのお陰です！感謝。

私たちの新しい先生を紹介します!!

中央聖書神学校では2001年度に新しい先生を三人お迎えしました!!ご紹介します!



名前：三上 友通 先生(牧師)

教会名：サンライズのそみ教会

教科：キリスト教教育緒論

抱負・学生に期待すること：キリスト教教育の大切さを知っていただきたい。そしてここで習ったキリスト教教育を、牧会していくうえで効果的に使っていただきたいと思う。



名前：鎌田 正治 先生

教会名：十条基督教会

教科：英語1・2

抱負・学生に期待すること：英語ができるようになること。英語で説教、証しができるようになること。英語で書物が読めるようになってほしい。



名前：カレン・ウェルチ 先生

教会名：和歌山栄光キリスト伝道所

教科：歌唱法

抱負・学生に期待すること：聖霊によって歌ったり、ピアノが弾けるようになること。牧師、伝道師、ミニストリーのための音楽がもっとよくできるように。上手な音楽ができないかもしれないが、聖霊を通して音楽ができるように教えたい。

21世紀の
伝道者養成は
ペンテコステ信仰に立つ

日本ペンテコステ教会

中央聖書神学校で

〒170-0003
東京都豊島区駒込 3-15-20
TEL: 03-3918-4925
FAX: 03-3918-4064
E-mail: XLV04467@nifty.ne.jp
http://www.cbc-j.ac.jp

北海道キャラバン



北海道と青森の皆様、
ありがとうございました！



時のお証し
を三人の学
生にしても
ります。

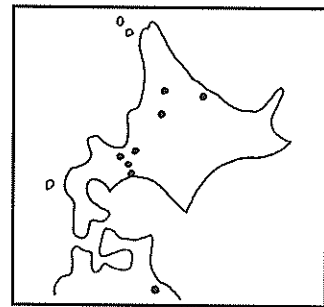
この度、神学校四年生一同は、毎年恒例のキャラバン伝道で北海道教区と青森の八戸へ行って参りました。

北海道は初めてという学生たちもいて、一同は大きな期待を持って船に乗り込みました。大洗からフェリーで、乗船時間は約二〇時間。北海道に着いた時のはじめの言葉は、「寒〜い!」でした。

北海道は広いので三つのチームに分かれて諸教会を訪れ、最後に青森の八戸へ行って参りました。その

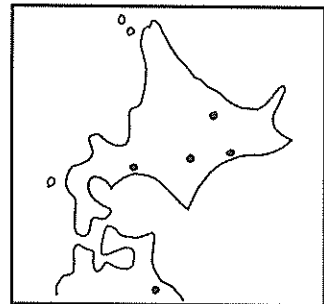
今回、このキャラバンで私が教えられたことは、何よりも先生方の牧会の方でありました。すばらしい自然のある北海道で神様の働きのためにビジョンに燃え、祈り、伝道、牧会をされているその情熱がとても伝わり、私自身が献身の思いを新たにさせられました。北海道の地で神様の御業を見ることができ、感謝しました。

(山本 美香)



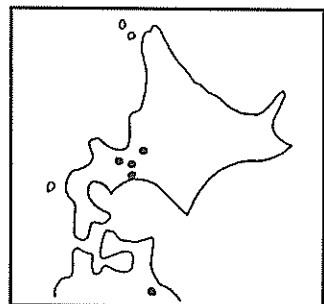
A チーム

北海道キャラバンに八月二〇日から二九日まで、上原師の引率の下、学生四人で、山手町、神居、紋別、名寄、千歳、札幌、岩見沢、最後に青森と巡回し、奉仕と交わりをさせて頂きました。各教会の先生方をはじめ信徒の方々が温かく迎え入れて下さり、心から感謝をしました。



B チーム

私たちBチームの目指す地は、北野師と共に、帯広キリスト伝道所・釧路神愛キリスト教会・北見神愛キリスト伝道所・八戸のぞみ教会。奉仕に来たのに、どの教会でも身に余る歓待!! しかし「北海道・大自然満喫グルメツアー」に来たわけではありません。帯広では伝道集会、釧路ではゴスペル賛美集会、北見では礼拝と賛美集会を奉仕。救われる魂も起こされました! ここに来なければ会えなかった先生、兄弟、ユースたち。初対面なのに家族の交わり。特に卒業を控えた私たちにとって、人知れず牧会されている先生方の苦勞話と神様の業に深い感動を覚えました。皆様との出会いを主に感謝します! (重本 基)



C チーム

船があんなに辛いとは思いませんでした。苫小牧までの二〇時間、船中に揺れない場所はありませんでした。腹の底からグウーと来るその瞬間、その瞬間でも私に対する神の愛は変わらず、神は私に最善をなしておられました。

山手町教会で朝食を頂きながら、揺れていない所で生活できること、のいかに幸いなことか、その恵みを感じました。パウロの伝道旅行も困難を極めたに違いない、移動しつつ食べて寝て生活せねばならない、しかも迫害されながら...。そしてその大半が船旅だった。目が開かれた思いでした。しかし辛かった私たちに行く先々の教会が大いなる歓迎をもって迎えて下さいました。大感謝! (奥田 冬樹)

今回は、謎に包まれたCBCの厨房をご紹介します。

Q1、神学生はいつもどんな食生活をしていますか？

A1、バランスのとれた、美味しい感謝な食事をしています。

朝食：週替わりの学生が(朝ヘル：朝食ヘルバーの意)作ります。メニューは日替わりでパン食の日と和食の日があります。

昼食：まかないの構姉と小関姉が神学生のために作って下さいます。メニューはパスタやチキン、炊き込みごはん、丼物などバラエティーに富んでいて、しかも、すごく美味しいのです。

夕食：構姉指揮のもと、学生二人が(夕食ヘルバーの意)四時からお手伝いします。五時から五人の学生(片ヘル：片付けヘルパー)も加わって、食事作りや、洗い物、盛り付け

びびるCBC

などをします。メニューは、ハンバーグ、から揚げ、天ぷら、マーボー豆腐など豊富です。

食事は、学生全員食堂において、昼は、先生方と一緒に。夜は北野先生と一緒にいただきます。

メニューは、私たち神学生のお母さんである構姉が決めます。学生みんなの健康や栄養バランスを考えながら、決めて下さるのですが、あまりに美味しいので、つい食べ過ぎて、入学後太ってしまったという学生もちらほら。続いて学生にアンケートした好きなメニューのランキングを発表します。

- 一位、シーチキンの中華丼
- 二位、から揚げ
- 三位、にんにくの芽のご飯
- 四位、焼き魚、サイコロステーキ丼
- 五位、ナスのぬか漬、ラザニア、ナスカレー、ハンバーグ。

Q2、片付けはどうしますか？

A2、片付けは、朝、昼、晩と五人の片ヘルが奉仕に入ります。新しい厨房は食器洗浄機や殺菌保管庫などがあり、どんなに洗いもの多くても三〇

分位で片付けることができます。

このような豊かな食事と設備は、全国諸教会の皆様への祈りと、感謝の献金によって与えられたものです。学生一同心より御礼申し上げます。

愛餐会で作ってみたいかがですか？

材料(四人分) ツナ缶(二七五g) 二缶

チンゲン菜二株、固形チキンフイヨン一個、酒大さじ二、ごま油大さじ一、しょうがの絞り汁大さじ一、塩こしょう各適宜、片栗粉大さじ二、豆板醤適宜、暖かいご飯適宜
作り方①チンゲン菜は縦半分に切り、株の真ん中で流水で良く洗い、塩ひとつまみを加えたたつぷりの湯でさつと下ゆでし、一口大に切る。②中華鍋に水1/2カップとほぐした固形フイヨンを入れて煮立て、酒と粗くほぐしたツナを加え、ひと煮立ちさせる。③チンゲン菜を加え、塩小さじ1/2、こしょう少々、ごま油で調味する。チンゲン菜の色が変わらない程度にさつと火を通し、同量の水で溶いた片栗粉を少しずつ加えてかきまぜる。④皿に暖かいご飯を盛り、たつぷりかけて、好みの量だけ豆板醤を添える。具と豆板醤を混ぜながら食べる。